

① 農業文化園 戸田川緑地

戸田川緑地は、港区と中川区を流れる戸田川の両岸に南北2.5kmにわたり広がる名古屋市南西部で最大規模の公園です。農業文化園は戸田川緑地の敷地内にあり、農業の大切さと花を愛する心をはぐむ市民憩いの施設として親しまれています。

② おくわ 御嶽神社

西福田新田は寛永20年(1643年)に当時の愛知郡八田村の豪農、鬼頭景義によって開拓されましたがその後、低湿地のため不作が続きました。そのため福田川を開削し、戸田川を改修するなどの難工事に取り組み、その工事の安全と豊作を祈願して御嶽様を祀ったものです。

③ いちご畑

大きいビニールハウスが目印の、名古屋市内で唯一いちご狩りが楽しめる観光農園です。平成22年(2010年)にオープンし、毎年12月中旬～5月中旬までがシーズンとなっています。
※シーズン中のいちご狩りは完全予約制(詳しくはホームページなどでご確認ください)

④ 戸田川緑道

戸田川沿いに整備されたおよそ1kmの遊歩道で、地元の方の散歩コースとして親しまれています。ソメイヨシノ、カワツザクラやサルズベリなど、時期によってさまざまな美しい景色が楽しめます♪【休憩スポットあります】

⑤ 南陽神社

大正12年(1923年)より、日清戦争以来の戦死・病死者が祀られています。靖国神社より分霊を勧請し、当時は南陽忠魂社と称しました。昭和30年(1955年)に現社名に変更され、境内には、伊勢湾台風殉難者の慰霊之碑があります。また、神社敷地内には、名古屋市認定地域建造物「鬼頭勘兵衛宅長屋門」が移築されています。

⑥ 七反野地蔵堂

鬼頭景義が福田新田を開拓したとき、この地が庄内川と戸田川の中間にあたり、工事犠牲者の冥福と堤防が切れないようにとの願いから、干拓完成の寛永17年(1640年)に、ここに地蔵堂を建立したといわれています。

⑦ 七反野神明社

鬼頭景義により、福田新田の堤防が締め切られた直後に建てられたといわれています。祭神は国常立命。昭和19年(1944年)、空襲により全焼し、戦後に再建されました。



⑧ 田んぼアート会場

田んぼアートとは、葉の色の異なる古代米などを使って、広大な田んぼに絵を描く取り組みです。南陽地域は、平成23年(2011年)から名古屋市内で唯一田んぼアートの制作を行っている地域です。

⑨ アグリパーク南陽

平成14年(2002年)に創設され、名古屋市内で最大となる2ヘクタールの温室で、大玉トマトとミニトマトを栽培しています。併設されている直売所では、新鮮なトマトや地場野菜を毎日販売しています。(11月～7月)

⑩ 七里の渡灯台跡

庄内川、新川と日光川が合流して伊勢湾にそそぐこの地は、その昔、熱田から桑名へ向かう海上七里の渡船の航路にあたっていました。航行の安全を図るため灯台が立てられ、渡船夜泊の標識として毎夜点じられました。(干拓により現在の南陽地域が誕生)

⑪ ふじまえの 藤前干潟 活動センター

南陽地域最南端に位置し、南に向かって広大に広がる藤前干潟と、そこでえさをとる野鳥たちの姿を見ることができ、館内では、干潟に生息するカニや魚などを見ることができ、干潟に入っての体感学習や調査を行う際の拠点施設にもなります。(12月～2月までは冬季休館となります)

※潮位が70cm以下のときに現れます。